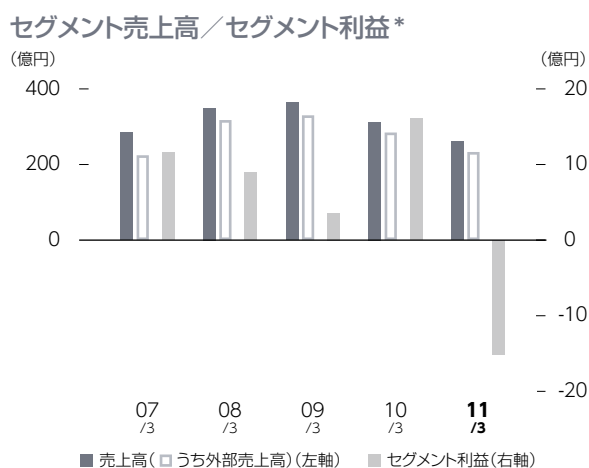


セグメント別事業概況

その他事業



* 2007年～2009年3月期は営業利益を、2010年～2011年3月期は経常利益を表示しています。

業績ハイライト

当期は、売上高は、連結子会社の電気通信工事の売上減少等により、前期比17%減少の261億円となりました。セグメント利益は、売上の減少等により前期比31億円減少し、15億円の損失となりました。

事業の概要

J-POWERが保有する経営資源とノウハウを活用し、多角的な事業を展開しています。現在、バイオマス発電や熱電併給システム（コジェネレーション）といった新たな電力事業、環境関連事業、情報通信事業、技術コンサルティング事業、石炭等販売事業などを推進中です。

事業の見通し

石炭ビジネスは、年間2,000万トン近くの石炭を調達する大規模ユーザーとしての優位性を活かし徐々に拡大していきます。また、石炭火力発電所でのバイオマス燃料の活用に向けて、林地残材等を活用した木質ペレットの製造や下水汚泥の固形燃料化など、燃料化事業に注力します。



広島市西部水資源再生センター 下水汚泥燃料化施設 (完成予想図)

その他事業における主な環境関連事業

(2011年6月末現在)

プロジェクト名	所在地	事業概要	当社出資比率(%)	運転開始年
金町浄水場PFI*1事業	東京都葛飾区	東京都水道局金町浄水場コジェネレーション (ガスタービン発電、出力12.28kW)	20%	2000年
鳴海工場PFI*1事業	愛知県名古屋市	名古屋鳴海工場整備・運営 (一般廃棄物処理能力: 530t/日)	11%	2009年
大阪市平野下水処理場汚泥固形燃料化事業	大阪府大阪市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所での混焼利用まで一貫体制で実施するPFI*1方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業 (汚泥処理能力: 150t/日)	60%	2014年(予定)
広島市西部水資源再生センター下水汚泥燃料化事業	広島県広島市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所での混焼利用まで一貫体制で実施するDBO*2方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業 (汚泥処理能力: 100t/日)	34%	2012年(予定)
大牟田RDF発電	福岡県大牟田市	一般ゴミを圧縮成型した固形化燃料 (RDF: Refuse Derived Fuel) を用いたリサイクル発電 (出力: 20.6MW、RDF処理能力: 315t/日)	45.2%	2002年
熊本市下水汚泥固形燃料化事業	熊本県熊本市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所等での混焼利用まで一貫体制で実施するDBO*2方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業 (汚泥処理能力: 50t/日)	事業会社設立準備中	2013年(予定)
宮崎県木質ペレット製造事業*3	宮崎県小林市	石炭火力発電所での混焼利用を目的とする、林地残材を使用した木質ペレットの製造・販売事業 (ペレット製造能力: 25,000t/年)	98%	2010年

*1 PFI (Private Finance Initiative): 民間の資金、経営能力、技術力等を活用して、公共施設の建設から運営までを行うプロジェクト方式。

*2 DBO: 公共機関が資金調達し、設計 (Design)、施行 (Build)、運営 (Operate) を一括して民間企業に委託するプロジェクト方式。

*3 製造したペレットは、一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の「平成21年度林地残材バイオマス石炭燃焼発電実証事業 (経済産業省補助事業 / 実施場所: 当社松浦火力発電所)」に使用します。